

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	主に使用 する言語	その他に使用 する言語	担当形態
医療英会話 III	必修	1	4	前		英語	日本語	複数 (共同)

【担当教員】 大下晴美・Sean Chidlow・坂口寛子

【科目名の英文】 Medical English Conversation III

【授業の概要・到達目標】

本授業では、英語での医療面接で使用される語彙・表現、様々な主訴に対する基本的な問診の流れについて学ぶ。さらに、医療面接に必要なコミュニケーションスキルについても理解を深め、英語での確かな医療面接を行うことができるようになることを目指す。

具体的な到達目標	医学科ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 患者の現病歴・既往歴・家族歴・社会歴の聴取を英語で行うことができる。	○	○			○	
2. Introduction, open-ended questions, closed questions, transitions, consent, paraphrasing, summarizing, acknowledgment, empathy などの医療面接に必要なコミュニケーションスキルを適切に使用しながら、医療面接を英語で行うことができる。		○			○	
各 DP への関連度 (計 10)	2	5			3	

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	現病歴の聴取①	Introduction, Chief complaint	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
2	現病歴の聴取②	History of present illness, Associated symptoms	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
3	既往歴・家族歴・社会歴の聴取①	Past medical history, Medications, Allergies	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
4	既往歴・家族歴・社会歴の聴取②	Family history, Social history	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
5	コミュニケーションスキル①	Transitions, Consent, Paraphrasing, etc.	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
6	コミュニケーションスキル②	Summarizing, Acknowledgment, Empathy	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
7	様々な主訴に対する問診①	Headache, Chest pain, Abdominal pain, etc.	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
8	様々な主訴に対する問診②	Fever, Cough, Fatigue, etc.	大下・Chidlow・坂口	講義・演習

<p>【アクティブラーニングの内容】</p> <p>知識の定着・確認のための小テスト・演習課題。 意見の表現・交換のためのペア活動。 医療面接の発話練習を行うためのロールプレイ。</p>	<p>【その他の工夫】</p> <p>資料等の配布、小テスト・演習課題などで LMS (Moodle) を活用。</p>
---	--

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	小テスト・演習課題の準備として、資料等の予習をする (10 h)。 授業内のペア (グループ) 活動・ロールプレイおよびインタビュー試験の準備・練習を行う (13 h)。
事後学修	小テストや資料、授業内の課題を用いて復習する (10 h)。
想定時間合計	33

【教科書】

教科書は指定しない。必要な資料は Moodle に掲載する。

【参考書】

参考書は指定しない。必要な場合は、授業で適宜紹介する。

【成績評価方法及び評価の割合】

小テスト+演習課題 (40%)、インタビュー試験 (60%) の総合評価が基準点 (60 点以上) を満たすことを単位取得の条件とする。

【注意事項】

【備考】		
リンク		
	URL	
教員の実務経験の有無	×	
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	対面授業	